

礎

いしずえ

40

茨城県民間保育協議会
青年部広報誌



柳澤克彦

茨城県民間保育協議会青年部部長

ごあいさつ
部長／副部長／各委員会委員長

茨城県民間保育協議会青年部を仰せつかっております柳澤です。今年も一年間、よろしくお願い申し上げます。平成29年度は、社会福祉法人改革として、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的取組みを実施する責務など、あらゆる観点から、公益性・非営利性を確保する観点から制度の見直し、国民に対する説明責任を果たし、地域社会に貢献する法人の在り方などが求められて来ます。このような制度改革が行われる中、保育士不足といった問題を抱え、保育の担い手となる人材の確保、潜在保育士の確保が必要とされる現状で、当青年部としても、平成26年度からの事業として、『いばらき民間保育園就活応援セミナー』を継続し、少しでも保育士の確保になるよう努め、待機児童の解消にも繋げて行きたいと思っております。また、本年度は新たに就活応援セミナーの実行委員会を組織化し、第5回、第6回と二つ会場での開催をいたしました。部員の先生方からもご理解・ご協力をいただき、更なる充実したセミナーとなるよう事業を進めて行きたいと思っております。

前年度は、このセミナーの影響で各委員会の活動が縮小され、思うように委員会の運営が進められなかったことを反省し、各委員会の活性化を図り、遂行して行きたいと思っております。そして、新たな部員の入部を求めて、多くの保育業界の次世代を担う若人を集い、活躍の場を作り上げられるような環境を整え進めて行き、部員の先生方のご尽力を賜り、ご支援ご協力を求めて行きたいと思っております。会員園の後継者の方がおりましたら是非この青年部に入部していただき、未来を担う全ての子供たちのために最善の利益を求め、保育を学び、語らい、自己の成長も求め、共に活気あふれる活動をして行きたいと思っております。また、歴代の先輩方に尊敬の念を持ち、新しい仲間も集い、伝統のある茨城県民間保育協議会の青年部として、運営して行きたいと思っておりますので、今年度も一年間青年部の活動にご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



松山圭一郎

茨城県民間保育協議会青年部副部長

今期から青年部副部長を仰せつかりました、松山圭一郎と申します。初めての役ですので、至らない点が多々あるかと存じますが、皆様のお力添えを頂きながら務めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。さて、新制度がスタートして早2年が過ぎ、その間には社会福祉法人制度改革、保育指針等の改定、保育士不足問題、少子化問題、処遇改善加算Ⅱの新設等、目まぐるしい日々が続いております。また、待機児童問題から発展した、保育の質や量が社会問題となったことで我々への注目度もさらに高まり、変化を求められる時代になりました。そんな中、変えてはいけないものと、変えなければならないことの見極めを行い、未来を担う子どもたちにとって本当に大切なことは何かを自問自答しながら、皆様と一緒に切磋琢磨していければと考えております。



川又朋子

茨城県民間保育協議会青年部副部長

今期、青年部副部長を仰せつかりました、川又朋子と申します。新制度がスタートしてから2年が経ち、皆さまの園や地元では何か変化を感じられているでしょうか？少子化・待機児童と、県内でも真逆の問題を抱える中、保育の在り方ばかりでなく地域の在り方を模索し、保育士不足という課題に直面しながらも、処遇改善に伴う研修参加の為、現場環境の工夫が重要になってきたりと、日々頭を悩ます時間を過ごしていますよね。そんな激動の中、青年部の今だからこそできること、学べることがあるのだと感じています。柳澤青年部長のもと、青年部らしい活動と交流の場を広げ、会員の皆さまにたくさんの情報を提供できますよう努めていきたいと思っております。どのような境遇になっても、将来の日本を背負っていくことも達にとって、繋いでいくこと・伝えていくことの大切さ、変化に対応できる柔軟性と新たなものへの探求心を育む環境を提供し続けていく為、青年部活動を通じて、出来る限りのことを皆さまと共に行動に移していきたいと思っております。



清水利春

茨城民間保育園
就活応援セミナー
実行委員長

今期、いばらき民間保育園就活応援セミナー実行委員長を仰せつかりました清水です。平成29年7月23日(日)に第5回、平成29年8月20日(日)に第6回のいばらき民間保育園就活応援セミナーを開催させて頂きました。お陰様で無事に土浦会場、水戸会場とも終了する事が出来ました。ご支援・ご協力を頂きました皆様方に改めて心から御礼を申し上げます。会員の各園におかれましても保育士の雇用について様々な努力をされている事と思います。これから確実に人口が減り、更に保育士の成り手も減っていく状況が推測される中、他業種と比較し、保育業界自体の魅力あげていくことが急務ではないかと感じながら実行委員長を務めさせて頂きました。今年度の実績として、第5回土浦会場は、参加者152名(学生149・潜在保育士3名)、ブース出展者30園、第6回水戸会場は、参加者92名(学生90名・潜在保育士2名)、ブース出展者33園となり、又、その他にも専門ブースとして、先輩保育士相談ブース、ハローワーク相談ブース、茨城県子育て人材支援センター相談ブースを設置させて頂きました。パネルディスカッションでは現役保育士に登壇頂き、現場の生の声を参加者の皆様に伝える事が出来ました。何よりも保育士という仕事は非常に魅力的でやりがいにあふれる、他の職種には無い素晴らしい仕事だと改めて認識する事が出来たと実感しています。初の試みとなったブース出展者1分間PRではご出演頂いた保育園の個性あふれる楽しいPRで会場が盛り上がりました。又、今回は参加者がブース出展をされた保育園のブースを4つ以上訪問すると素敵な豪華賞品がもらえる抽選会を実施しました。当選された参加者の皆様方も含め、抽選に参加された皆様も非常に喜んで頂けた企画となった事と思います。今年度は全ての就活応援セミナーが終了となりましたが、来年へ向けてより一層、色々なアイデアを出しながら参加される皆様にとってより良い就活応援セミナーになるよう努力して参りたいと思います。結びになりますが、就活応援セミナーにご協力を頂きました、皆様方に心から御礼を申し上げます。



雨谷鉄平

調査研究委員会
委員長

今年度から、調査研究委員会の委員長を務めさせて頂くことになりました、いばらき中央認定こども園の雨谷です。昨年、開催4年目になる就活応援セミナーのアンケート調査に始まり、今年度も皆さんが「知りたい!」と思うようなことをテーマにアンケート調査の方、進めていきたいと考えております。今日の保育を取り巻く環境の大きな変化に対応されている先生方に少しでもお役に立てるよう、誠心誠意取り組んで参りたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。



中西良環

渉外委員会
委員長

この度、渉外委員会委員長を仰せつかった、認定こども園大野めぐみ保育園副園長中西良環です。任期の二年間、渉外委員会はコミュニケーションを通じて様々な情報を共有できる場を提供し、悩みや相談を言いあえる関係性をつくる事が出来れば良いと考えております。青年部の活性化並びに親睦を深められるような事業を企画していきたいと思っておりますのでご協力お願い致します。今のところ青年部最年少です。分からないことだらけですが、精一杯頑張りたいと思っておりますので、皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



堀川宗愛

研修委員会
委員長

この度、研修委員会の委員長を仰せつかった、堀川保育園の堀川宗愛です。任期2年間、残り少ない青年部生活を楽しみながら務めさせて頂きたく思います。研修委員会としては部員の皆様からいろいろな意見を聞かせていただき、皆様が今、知りたいこと、やりたいことを企画していきたいと思っております。どんな内容でも結構ですので、お伝えいただければ幸いです。また、ここ最近行われていない海外視察研修も行いたいと思っております。皆様のご参加をお待ちしております。



滝田昌弘

広報委員会
委員長

今年度より広報委員会委員長を仰せつかりました、結城市つくば保育園の滝田昌弘です。皆様よろしくお願い致します。広報委員会では、広報誌「礎」を発行しております。第1号から先輩方が素晴らしい「礎」を制作してきましたが、「礎」は今年で40号目を迎えます。SNSの利用が当たり前となっている時代ではありますが、広報誌「礎」ならではの価値ある情報発信を目指し委員会活動に取り組んでまいります。また、「礎」を通しいろいろなことにチャレンジしてみたいと思っております。

いばらき民間保育園 就活応援セミナー

7.23 8.20
TSUCHIURA MITO
URARA LAKE VIEW MITO

whats?

いばらき民間保育園就活応援セミナーって？

今年で4年目、6回開催している茨城県民間保育協議会主催の保育士志望の学生、求職中の潜在保育士を対象とした、民間保育園の合同説明会です。保育士不足による保育の質の低下が問題視される中、少しでも多くの保育士と保育園の出会いの場を、という目的で開催されています。これまでも、セミナーやパネルディスカッションなど様々な企画を実行してきましたが、今年からは豪華景品抽選会や、参加園による1分間PR、SNSでの告知など新しい試みを加えつつセミナーの活性化にむけて活動しています。

Check!

TWITTERアカウント: @hoikuenshukatsu
HPアドレス: <https://www.ibaraki-hoiku.com/>

パネルディスカッション感想

この度、第5回いばらき民間保育園就活応援セミナー土浦会場においてパネルディスカッションのコーディネーターを務めさせていただきました筑子保育園の中山です。この機会が、これから就職する保育士さんたちの不安を取り除く機会、たくさんの幸せがこの仕事にはあることを知ってもらう機会、そして「働きやすい職場」さらには「働き甲斐がある職場」探しができる機会になることを願い、4園の保育者仲間のパネラーと力をあわせ取り組みました。学生の皆さんに少しでも楽しく知ってもらおうとカツラを被ったりと、和やかな雰囲気を始めようと試みましたが、笑いも出ず、少々取り乱してしまいました。しかし4園のパネラーの皆さんの協力もあり、アンケートの結果では学生の皆さんに大変満足していただいたようです。期待に胸を膨らませ、やる気いっぱいキラキラした目で就活をしている未来の保育士さんたちを見ていると、新採の保育士さんが仕事に取り組める職場の環境づくりを我々がきちんと整えることも大切なのだとさらに責任を感じる機会となりました。



中山天公



7.23 TSUCHIURA URARA

参加者数152名



8.20 MITO LAKE VIEW MITO

参加者数92名

1分間PRを終えて

就活応援セミナーが開催されて早4年。今年度より、新たな取り組みを行うこととなった。それが「1分間PR」。ブース出展側（保育者）が自身の園をアピールする企画である。そもそも「PR」とは何か。日常的によく使っていたが案外知らないもので、パブリック・リレーションズの略、直訳すると「社会の人々との関係」とのこと。企業や団体が社会と良い関係を構築するための活動のようである。なるほど！良い関係を作りたい側（学生）と良い関係を作り出す側（保育者）の接点がこの「1分間PR」にあるということだ。じつに深い。その甲斐もあり学生も進んでかわりを持つという姿も見られ、保育者側も生き生きしている。新たなことにチャレンジするのはリスクも考えてしまう。しかし今よりもっと良いものにするぞという意欲を持ち、すべての事を前向きにとらえる姿勢が成功のコツなのだと感じる事ができた。



萱場祐友



養成校の先生と学生にインタビュー!

QandA

どうだった？就活応援セミナー

CASE1 学生Aさん 学生Bさん

Q 就活応援セミナーに参加してどうでしたか？
A 学生Aさん：実際に現場の先生の話聞いて、参考になりました。
学生Bさん：なかなか一度にたくさんの園を見ることがないので良かったです。

Q 見学に行ってみみたい保育園・こども園はありましたか？

A 学生Aさん：ありました。
学生Bさん：ありました。

Q 就職するにあたり心配なことや不安なことはありますか？

A 学生Aさん：人間関係です。
学生Bさん：人間関係とピアノが心配です。

Q 不安を取り除くにはどうすれば良いと思いますか？

A 学生Aさん：実際に気になった園に見学に行き不安を払拭したいと思います。

Q 保育園に就職するにあたり、お父さんやお母さんのご意見はありますか？

A 学生Aさん：幼稚園の時からずっと保育士に憧れていたんで、両親ともに応援してくれています。
学生Bさん：お母さんが保育士なので、保育士の良い所、大変な所を知っているので心配されている部分もありますが保育士を目指しています。



学生さんと



養成校の先生と

CASE2 筑波研究学園専門学校(先生)

Q 参加して如何だったでしょうか？

A 保育実習が6月末に終わり、7月から就職活動のガイダンスをしているので、時期的には丁度良いです。学生に意識付けさせるのにはベストの機会です。

Q 昨年の就活応援セミナーの反応は如何だったでしょうか？

A 直接、就職に結びついた例もあります。また、実習先の園がブースを出しており、直接声をかけて頂き就職に結びついた例もあります。

Q 就活応援セミナー開催の告知方法はどのようにして頂いているのでしょうか？

A 本校としましては、現場の先生方が素晴らしい企画をなさっているので、全員で聞いて来ましようと言うことで授業の一環として義務付けさせて頂いております。本日の参加者も、体調を崩している学生以外参加しております。

Q 参加して如何でしたか？

A 改めて、今日から就職活動だよと言い聞かせ緊張感を持たせ参加させています。

Q 学生さんが就職に関して不安に思っていること

A 世間では、給与の処遇改善だとか騒がれていますが、学生は給与よりも人間関係を不安がっている様子です。社会にでると様々なことがあるよと話し、コミュニケーションをより良くとれるよう指導しています。

Q 企画の内容については如何でしょうか？

A 一分間PRをやって頂いて、たくさんの保育園・こども園を一目で感じとれ良かったと思います。

インタビュアー 長谷川夏生

関東ブロック保育研究大会参加報告について

第58回 関東ブロック保育研究大会が茨城県水戸市に於いて7月6日(木)・7日(金)と二日間にわたって開催されました。参加者数は、約1,250名(県外 約710名、県内 約540名)と大盛況のなか無事終了されました。1日目の全大会では茨城県立県民文化センター(大ホール)で式典・基調講演・記念講演が行われました。式典では水戸市出身のシンガーソングライター磯山 純 氏のオープニングを皮切りに盛大に開催されました。基調講演では、京都大学名誉教授 鯨岡 峻 氏より『「接面」での子どもの心の動きをエピソードに綴る-子どもの心を育てる保育のために-』。記念講演では、薬師寺副執事長 大谷 徹 氏より『幸せの条件』が講演されました。お二方のとても素晴らしい心に残る基調・記念講演ありがとうございました。2日目の分科会では、第1分科会～第8分科会、特別分科会が各会場(県民文化センター、ホテルテラス ザ ガーデン水戸、ホテルレイクビュー水戸)に分かれ開催されました。私が参加させて頂いた特別分科会では「認定こども園の現状と今後の課題」と題しました、パネルディスカッションがなされました。各園、様々な現状と課題があることを知ることができ地域・環境が違えば様々なニーズや現状・課題があるんだなと改めて考えさせられました。又、助言者をなされました、白梅学園大学大学院 特任教授 無藤 隆 氏の講演「今後の幼児教育とは」を聴講し、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領など詳しく解説され、深く研鑽することができました。二日間にわたり、大変有意義な時間を作って下さいました関係者の皆様、本当にお疲れ様でした。それと同時に有難うございました。



山崎 公蔵

卒業報告

青年部を卒業して

青年部ではたくさんの経験をさせていただきました。全国大会に行ったこと。様々な勉強会。委員会活動。6年間で学んだこと、得たこと、励みになったことは、数えきれないくらいです。心が折れそうになった時も青年部のみんなと語りあうことによって、乗り越えることができました。青年部を卒業することはとても淋しいですが、これからも陰ながら力になれることがあればと思っています。本当にありがとうございました。

大谷 美和子

初めに一言、「良かった!」です。

入部したきっかけは、義兄に当たる平磯保育園の園長、川崎から入るようにすすめられて入りました。委員会もすすめられるがまま入り、みんなの話を聞いても経営や人事の話ばかりで、ちんぷんかんぷんでした。しかも男性ばかりで何も聞けず…という状態のところ、萱場先生が「先生、一緒にお茶どうですか?」と声をかけてくれ、ほかに2名ぐらいの同じ委員会の先生方と一緒にお茶を飲みながら、青年部の目的と委員会(そのときは、調査委員会)について話をしてもらい、納得しました。

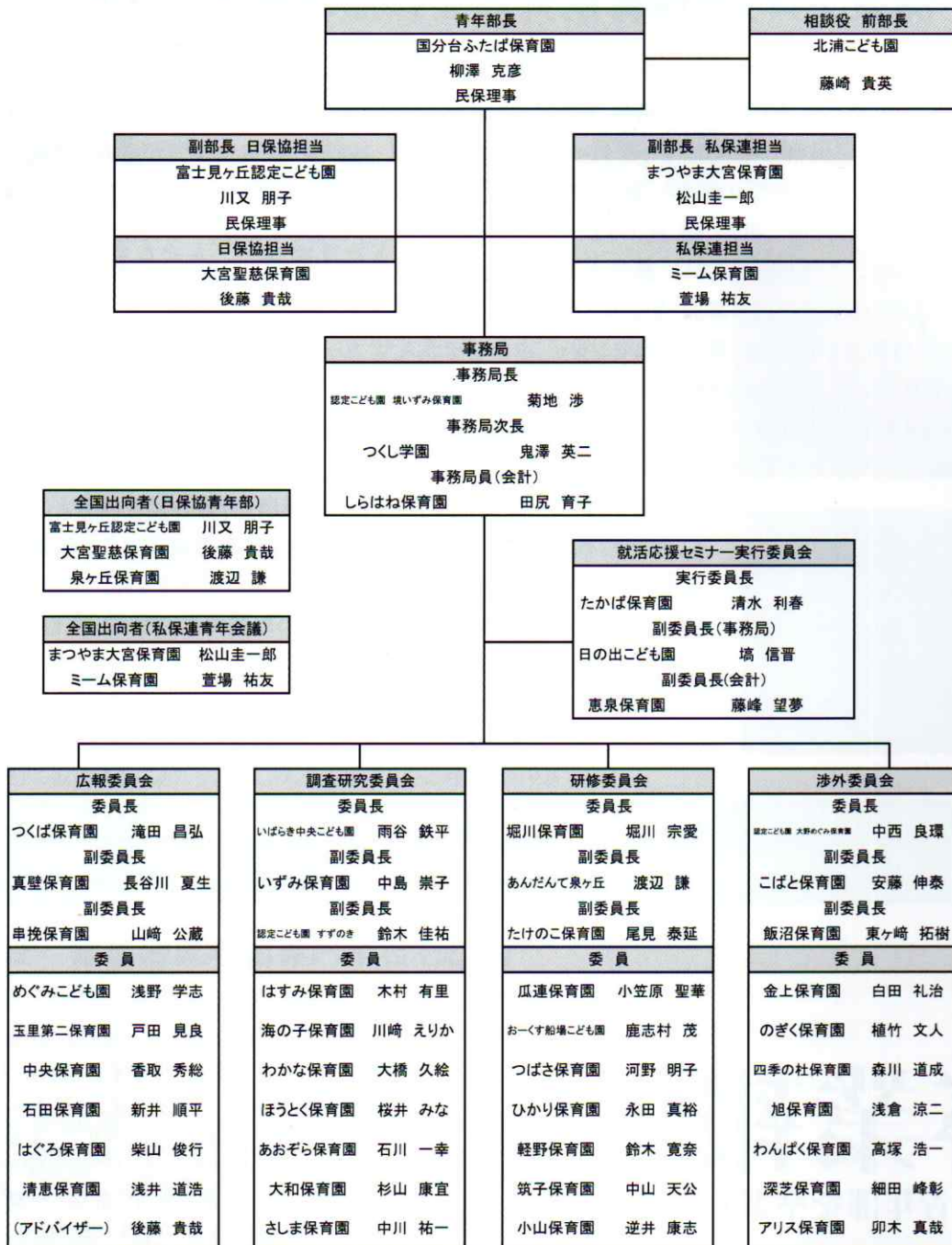
また、青年部のいいところは、皆、隠すことなく自分の悩みを話したり、情報交換ができることです。本当に勉強になりましたし、励みにもなりました。そして、皆、志をきちんと持っていて、「すごい!」と感心しました。「親の背中を見て子は育つ」ということも、改めて知ることができたように思います。卒業は、正直寂しいですが、保育を志す同志として、これからもおつきあい頂きたいと思います。

12年間、本当にお世話になりました。楽しく勉強ができました。

ありがとうございました。

大野 裕子

平成29／30年度 茨城県民間保育協議会青年部 組織図



- ◇ 広報委員会 (各種情報の取材と青年部広報誌「礎」の発行 他)
- ◇ 調査研究委員会 (施設経営or運営に係わる各種調査及び研究 他)
- ◇ 研修委員会 (視察や勉強会等の研修、企画及び運営 他)
- ◇ 渉外委員会 (独自企画によるイベント企画及び運営 他)

4コマ漫画 保育の よん コマ

作 玉里第二保育園



編集／発行

茨城県民間保育協議会青年部
広報委員会

委員長 滝田昌弘
副委員長 長谷川夏生
山崎公蔵

委員 浅野学志／戸田見良
香取秀総／新井順平
柴山俊行／浅井道浩
後藤貴哉